

令和6年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	令和6年度「防災とボランティア週間」防災講演会	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災意識醸成活動支援事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

毎年1月の「防災とボランティア週間」に合わせ、防災に対する意識の高揚とともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的として開催する。

2. 事業実施体制

主 催：北陸地方防災エキスパート
 特定非営利活動法人 新潟県砂防ボランティア協会
 新潟県治山ボランティアセンター
 協 賛：一般社団法人 北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

◇日 時：令和7年1月20日（月）15:00～17:15

◇会 場：アートホテル新潟駅前

◇プログラム：

- ・講演1「液状化層の実態解明と今後の対策-2024年能登半島地震を例に-」
 講師：ト部 厚志(新潟大学 災害・復興科学研究所 所長・教授)
- ・講演2「全国随一の伝統的料亭街「古町花街」-その文化的価値と保全活動-」
 講師：久保 有朋(古町花街の会・古町花街地区防災会 事務局長)

◇参加者：81名（うち、北陸地方防災エキスパート登録者27名）

* (一社)建設コンサルタンツ協会CPD認定プログラム

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成8年の北陸地方防災エキスパート設立後、平成10年から「防災とボランティア週間」に合わせ毎年開催(コロナ禍による休止はさむ)しているものである。

今回の講演では、令和6年1月に発生した能登半島地震から1年を経過しての状況を、液状化被害が顕著だった新潟市を主な事例に紹介するとともに、幾多の大火や震災を乗り越え地域に残ってきた歴史的町並みの保全について考え、地域防災への新たな気づきを促した。

また、複数の防災ボランティア団体が協力し開催、参加者が集うことで交流の場となり、災害時におけるボランティア同士の協力体制が期待できる。

講演 1



講演 2

